

東京外国為替市場委員会 第 270 回会合 議事録

開催日時	2024 年 4 月 16 日
場 所	日本銀行
議 長	井上 吉康
副 議 長	大澤 孝元
副 議 長	小橋 暁史
書 記	桜 健一
出 席 者	25 名

I. 副議長・委員退任の件

大澤副議長より、金戸副議長と山本委員が退任となった旨が報告されました。

II. 副議長・委員立候補の件

小橋氏と寺脇氏からそれぞれ副議長と委員に立候補する意思が示され、いずれも全会一致で了承されました。

III. 準委員交代の件

大澤副議長より、田中氏と清高氏が準委員を退任し、それぞれ南氏と平田氏が後任となる旨が報告されました。

IV. 株式取引決済日短縮について

田中委員より、米国株の決済期間短縮についての報告書の全文英訳版作成にあたって、翻訳業者との業務委託契約書にかかる法律・コンプライアンス小委員会での確認結果が報告されました。これを踏まえて、小林委員より、同契約書を用いて、委員会議長名で契約を行う旨について提案があり、全会一致で承認されました。また、費用については、フォレックスクラブに協賛金依頼を行う方針が報告され、全会一致で承認されました。

平島委員より、CLSの最近のプレスリリースに基づいて、米国株の決済期間短縮にかかるCLSの対応方針が紹介されました。

V. フォレックスセミナーについて

高山委員より、今後のフォレックスセミナーについて、検討中の事項の報告がありました。また、委員会で利用中のメール配信サービスについて、契約を更新する方針であることが報告され、全会一致で承認されました。

VI. その他

大原準委員より、東京市場が連休となるゴールデン・ウィーク中の流動性の低下に関する注意喚起を委員会ホームページ上で実施することが提案され、特段異論は示されませんでした。

田中委員より、GFXCのProportionality Self-Assessment Toolの日本語版実装にかかるWebページの管理会社との契約書に関する法律・コンプライアンス小委員会での確認結果が報告されました。これを踏まえて、桜書記より、同契約書を用いて、委員会議長名で契約を進めていく旨の提案があり、特段の異論は示されませんでした。

以 上

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿 (4月16日現在)

<委員>

議長・BCP小委員長	井上 吉康	(モルガンスタンレーMUFG証券)
副議長・Eコマース小委員長	○大澤 孝元	(バークレイズ銀行)
副議長・Code Of Conduct小委員長	○小橋 暁史	(みずほ銀行)
書記	○桜 健一	(日本銀行)
運営小委員長	○寺脇 一紀	(三菱UFJ信託銀行)
広報小委員長	○福田 京子	(オーストラリア・ニューズ・ワラント [®] 銀行)
法律・コンプライアンス小委員長	○田中 裕貴	(三井住友信託銀行)
教育小委員長	○高山 典大	(野村証券)
市場調査・バイサイド小委員長	○鈴木 保匡	(三井住友銀行)
	○星野 昭	(シティグループ証券)
	○小林 良平	(JPモルガン・チェース銀行)
	○十時 潤一郎	(上田東短フォレックス)
	○宗川 雄視	(LSEG)
	○平島 圭志	(CLS)
	○好川 弘一	(NAB証券)
	○大熊 貴之	(野村アセットマネジメント)
	○井上 裕嗣	(BNPパリバ銀行)
	○山崎 照永	(EBSデータリンク [®] リソースジャパン)
	○大須賀 萌	(ゴールドマン・サックス証券)

<準委員>

	○星 義浩	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
	○大原 豪	(三菱UFJ銀行)
	○田中 潤平	(みずほ銀行)
	○南 英明	(みずほ銀行)
	○由良 啓輔	(バークレイズ銀行)
	○清高 怜司	(三井住友銀行)
	○平井 裕一郎	(日本銀行)

<オブザーバー>

松浦 晃弘 (財務省)

(注) 敬称略 (順不同)。○は今回出席。